



運動会の練習スタート!

写真は、表現運動に意欲的に挑戦する1年生です。各学年の熱い演技をお楽しみに!!

こんにちは。

いつもよりぐんと短かった夏休みに別れを告げて、8月21日(金)子ども達が学校へ戻って来ました。蝉の鳴き声ばかりが響いていた校舎には、明るい声がこだましました。当たり前ですが、やはり学校には子ども達が必要です。今年の2学期は4か月を超える長丁場。長い集団生活は順風満帆ではないかもしれませんが、教職員一同、危機感を失うことなく、子ども達の健やかな成長を目指し、日々の教育にまい進して参ります。

保護者の皆様、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

◆ なのみサポーターがやって来る! ◆

コロナを乗り越えようと頑張る子ども達、教職員。そこに、皆様からの熱いご支援をいただいています。快く手を挙げてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。また、いつも見守り応援してくださっている方々にも・・・応援ありがとうございます!ごさいます。

- ◆ **なのみクリーンサポーター** 21名:毎週木曜日の放課後、教室等の消毒活動を実施。
- ◆ **なのみ学習サポーター** 5名:金曜日放課後、1・2年生のプリント学習等をサポート。あと少し募集中!
- ◆ **なのみ草刈サポーター** 11名: 8/30(日)、校庭をおおう草を一気に除去していただきました。

◆ 通学路 その3 ◆

「通学路」

それは、子ども達の命の営みに出会うところでもあります。横断歩道の向こうから、下唇を指で下げ、ぐらつく下の前歯を動かしてみせながらやってくる一年生。おうちの方に永久歯の芽生えを教えていただいたのでしよう。間もなく現れる「おとなの歯」への戸惑いと期待感からか、その子は困った顔をしながらも、早く知らせようと急ぎ足で歩いてきます。

一年生の頃、前歯だけでなく「六歳白歯(きゅうし)」という永久歯の奥歯も現れます。この奥歯、私達にとって食べ物や噛み砕いてくれる大切なパートナー。丁寧な歯磨きは、大事なパートナーへのいたわりです。今、彼らの口の奥で真っ白に輝いています。

お話を戻しますと、先ほどの一年生。しばらく私に説明をしてくれたため、いつの間にか交差点は通学児童で密状態。慌てて学校へと促しました。ぐらつく前歯の不安定感を感じつつも永久歯誕生への希望にあふれ、その子はランドセルを揺らして歩いていきました。

子ども達の心身は急激な成長過程にあります。歯の生え変わりもしかり、身長、体重、第二次性徴、声変わり・・・小さな体に起きる一つ一つの変化。それは子どもの生命のあかし、いのちの営み・・・歩いていくあの子の背を見ながら、あの頃、我が子のぐらつく小さな歯を見て、どんな会話をしたかな、いのちの営みなんて話できなかったな・・・と、思いを巡らせた朝でした。

このコラム、通学路からなかなか学校にたどり着きません。